



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2013年3月期 第1四半期決算説明会

2012年7月31日
TDK株式会社

◆ 2013年3月期 第1四半期連結業績概要

執行役員/経理部長 桃塚 高和

◆ 記録デバイス事業について

ヘッドビジネスグループゼネラルマネージャー

石黒 成直

2013年3月期 第1四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

2013年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)	2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,062	2,087	25	1.2
営業利益	60	92	32	53.8
営業利益率	2.9%	4.4%	1.5pt	-
継続事業税引前利益	37	88	52	139.4
当期純利益	24	45	20	84.5
1株当たり利益(円)	18円78銭	35円52銭	-	-
為替	対ドルレート	81円74銭	80円27銭	1.8%の円高
	対ユーロレート	117円62銭	103円18銭	12.3%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約52億円の減収 営業利益：約8億円の減益			

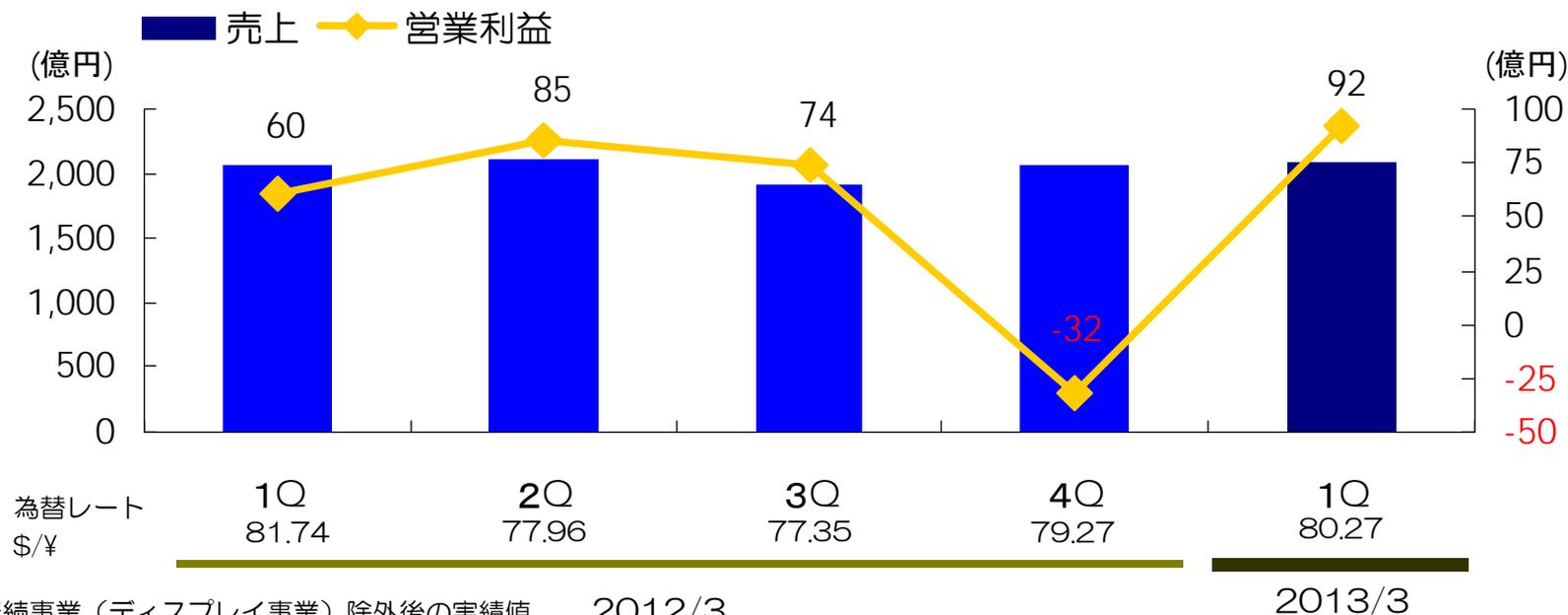
※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

◆ 連結売上高は前年同期比1.2%、営業利益は53.8%増

- ・ 情報家電、通信市場は想定を下回って推移
- ・ 自動車市場は想定どおり堅調に推移
- ・ 四半期ベースでは増益基調へ

◆ 収益力改善にむけた構造改革は計画どおり進捗

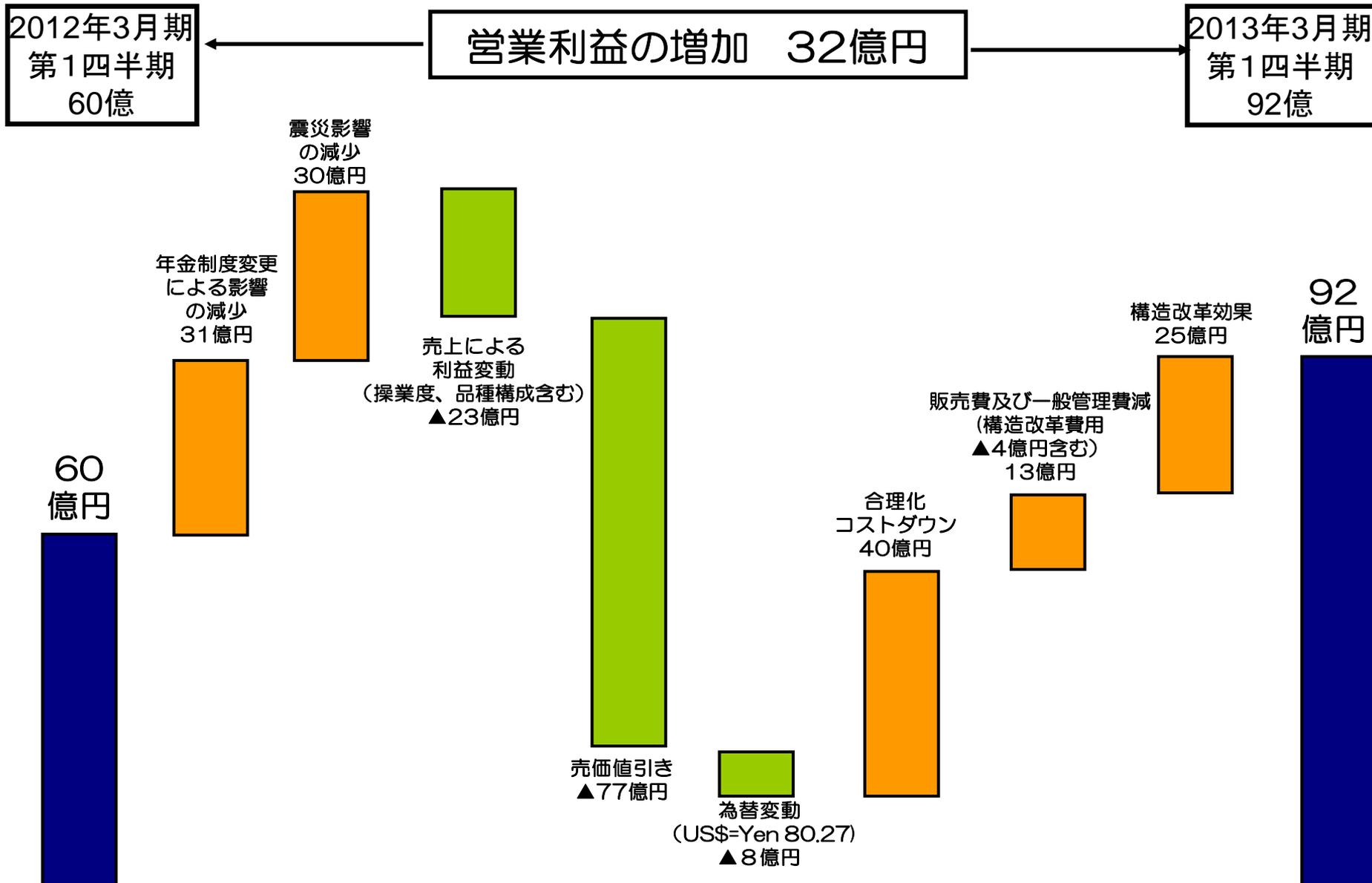
● 売上高及び営業利益の四半期別推移



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値 2012/3

2013/3

営業利益増減分析



セグメント情報 四半期比較 (前1Q vs. 1Q、前4Q vs. 1Q)



(億円)	2012年3月期 第1四半期 2011年4月~6月 (A)	2012年3月期 第4四半期 2012年1月~3月 (B)	2013年3月期 第1四半期 2012年4月~6月 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)		
				増減	増減率(%)	増減	増減率(%)	
売上高	コンデンサ	361	316	314	△ 47	-12.9	△ 2	-0.6
	インダクティブデバイス	329	284	282	△ 47	-14.2	△ 2	-0.7
	その他受動部品	328	305	318	9	-2.8	13	4.3
	受動部品合計	1,017	905	915	△ 102	-10.1	10	1.1
	記録デバイス	552	582	599	47	8.5	17	2.9
	その他磁気応用製品	244	297	283	39	16.0	△ 14	-4.7
	磁気応用製品合計	796	878	882	86	10.8	4	0.5
	フィルム応用製品合計	180	242	232	52	28.9	△ 10	-4.1
	その他	69	46	58	△ 11	-16.1	12	26.1
	合計	2,062	2,070	2,087	25	1.2	17	0.8
営業利益	受動部品	38	△ 132	△ 29	△ 66	-	103	-
	磁気応用製品	86	140	146	60	69.9	6	4.3
	フィルム応用製品	12	△ 5	21	9	72.1	26	-
	その他	△ 4	△ 26	△ 4	0	-	22	-
	小計	132	△ 23	134	2	1.5	157	-
	全社および消去	△ 72	△ 9	△ 42	30	-	△ 33	-
	合計	60	△ 32	92	32	53.8	124	-
営業利益率	2.9%	-1.5%	4.4%	1.5pt	-	5.9pt	-	

為替	対ドルレート	81円74銭	79円27銭	80円27銭
	対ユーロレート	117円62銭	103円94銭	103円18銭

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期連結業績予想



(単位：億円, %)

期 科目	2013年3月期 予想	2013年3月期 予想	2012年3月期 実績	2012年3月期対比 増減	
	2012年7月 発表	2012年4月 発表		金額	増減率(%)
	金額	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	9,000	9,000	8,145	855	10.5
営業利益	570	570	187	383	204.8
税引前当期純利益	530	530	122	408	334.4
当社株主に帰属する当期純利益	400	400	△ 25	425	-
固定資産の取得	850	850	997	△ 147	-14.7
減価償却費	820	820	799	21	2.6
研究開発費	530	530	526	4	0.8

- 2013年3月期の連結業績予想は、前回公表値（4月27日）から変更なし
- 第2四半期以降の平均為替レート想定
対米ドル77円（前回想定から変更なし）、対ユーロ95円（前回想定：103円）

記録デバイス事業について

ヘッドビジネスグループ
ゼネラルマネージャー
石黒 成直

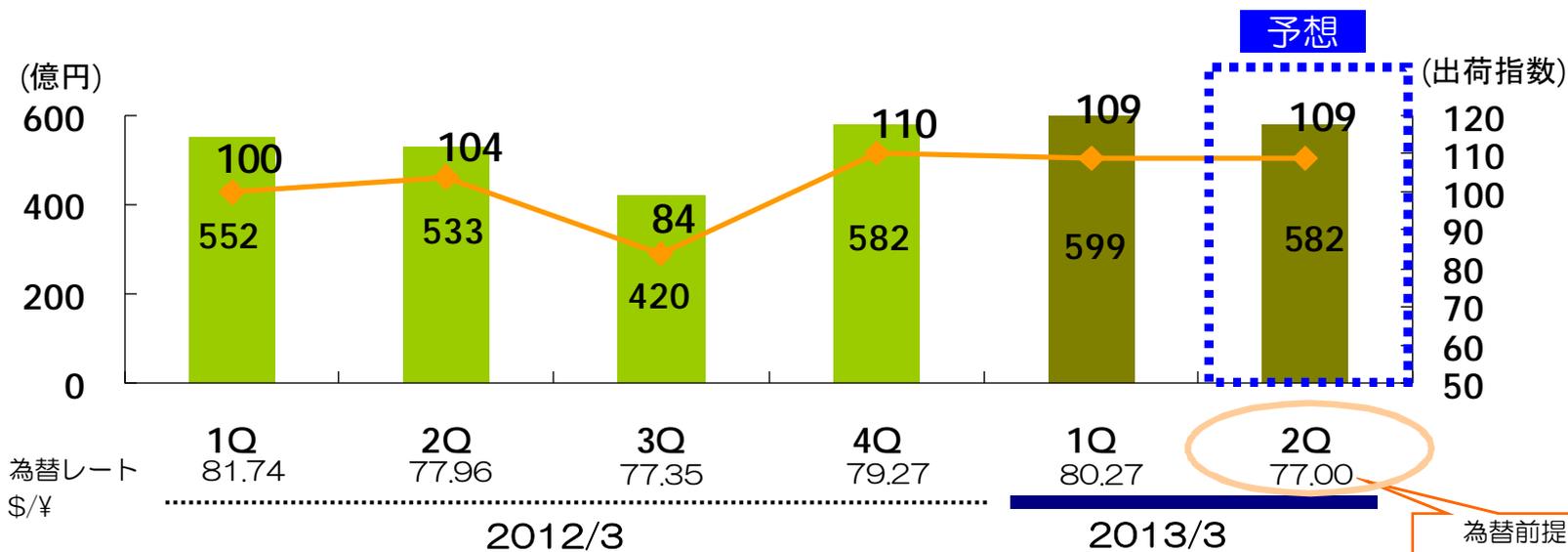
●HDD市場

2013年3月期（4月末時点当社予測）：約7億台

2013年3月期（7月末時点当社予測）：約6億6千万台

●出荷指数

- 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド及びHDD用サスペンションを含む）
- ◆ ヘッド（HGA）数量出荷指数（右軸、2012年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



補足資料

売上高及び営業利益の四半期推移

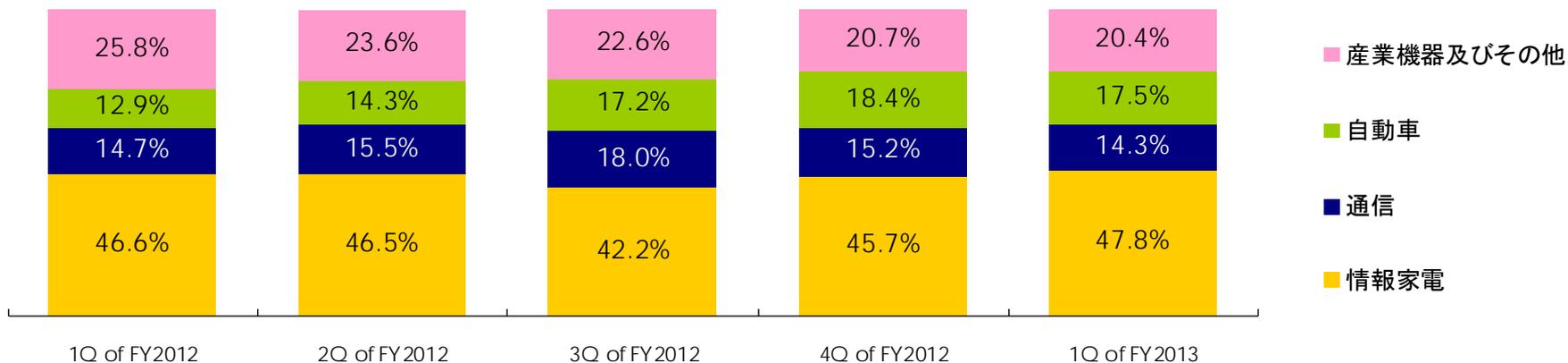


		2012年3月期					2013年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	(億円)										
	コンデンサ	361	342	306	316	1,324	314				
	インダクティブデバイス	329	314	286	284	1,212	282				
	その他受動部品	328	344	304	305	1,280	318				
	受動部品合計	1,017	999	895	905	3,816	915				
	記録デバイス	552	533	420	582	2,087	599				
	その他磁気応用製品	244	277	260	297	1,077	283				
	磁気応用製品	796	810	680	878	3,164	882				
	フィルム応用製品	180	224	282	242	927	232				
	その他	67	66	57	46	238	58				
合計	2,062	2,099	1,913	2,070	8,145	2,087					
営業利益	受動部品	38	13	15	△ 132	△ 66	△ 29				
	磁気応用製品	86	95	70	140	390	146				
	フィルム応用製品	12	26	29	△ 5	63	21				
	その他	△ 4	△ 12	△ 7	△ 26	△ 48	△ 4				
	小計	132	122	107	△ 23	338	134				
	全社および消去	△ 72	△ 37	△ 34	△ 9	△ 151	△ 42				
合計	60	85	74	△ 32	187	92					
為替	対ドルレート	81.74	77.96	77.35	79.27	79.07	80.27				
	対ユーロレート	117.62	110.42	104.30	103.94	109.06	103.18				

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

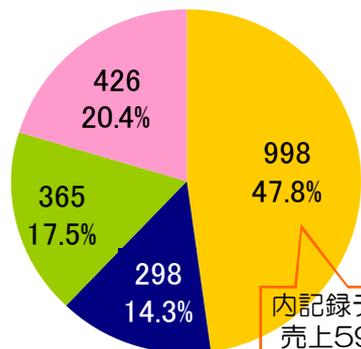
分野別売上高四半期推移(2012年3月期～2013年3月期)

<分野別四半期売上比率推移>



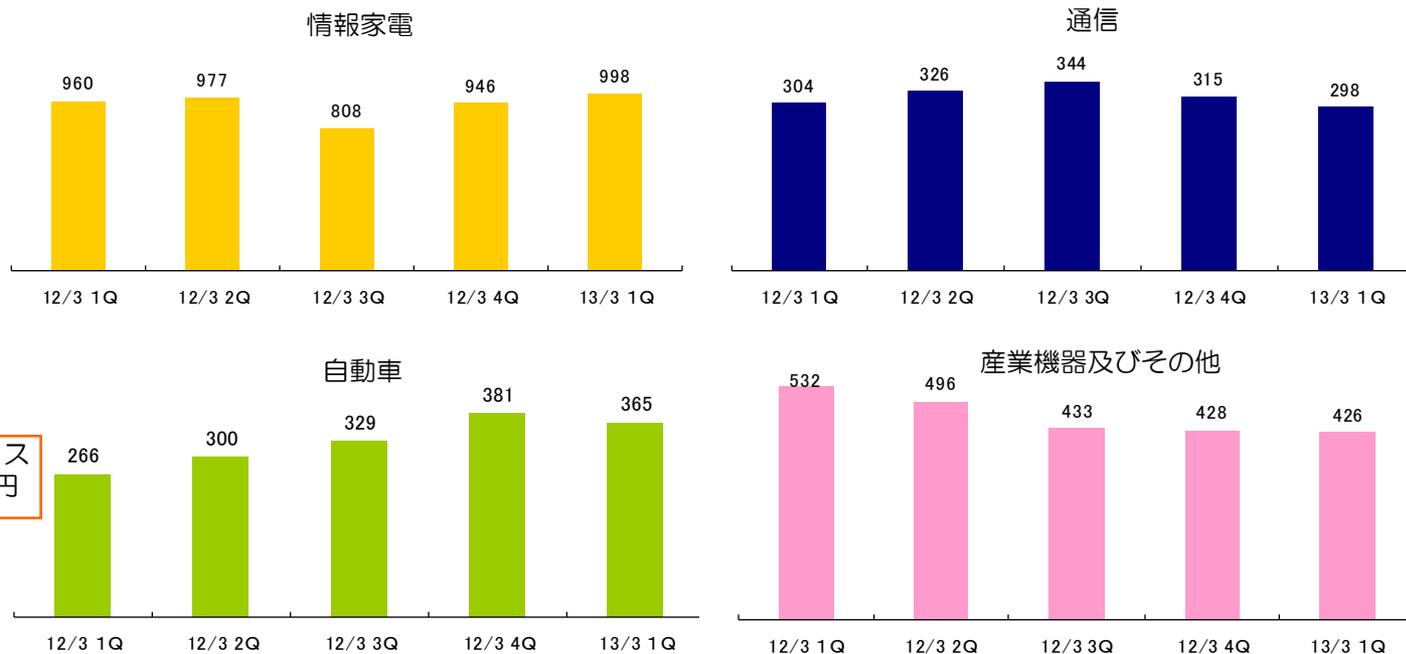
<分野別四半期売上推移(億円)>

2013年3月期
1Q分野別内訳(億円)
売上高 2,087億円



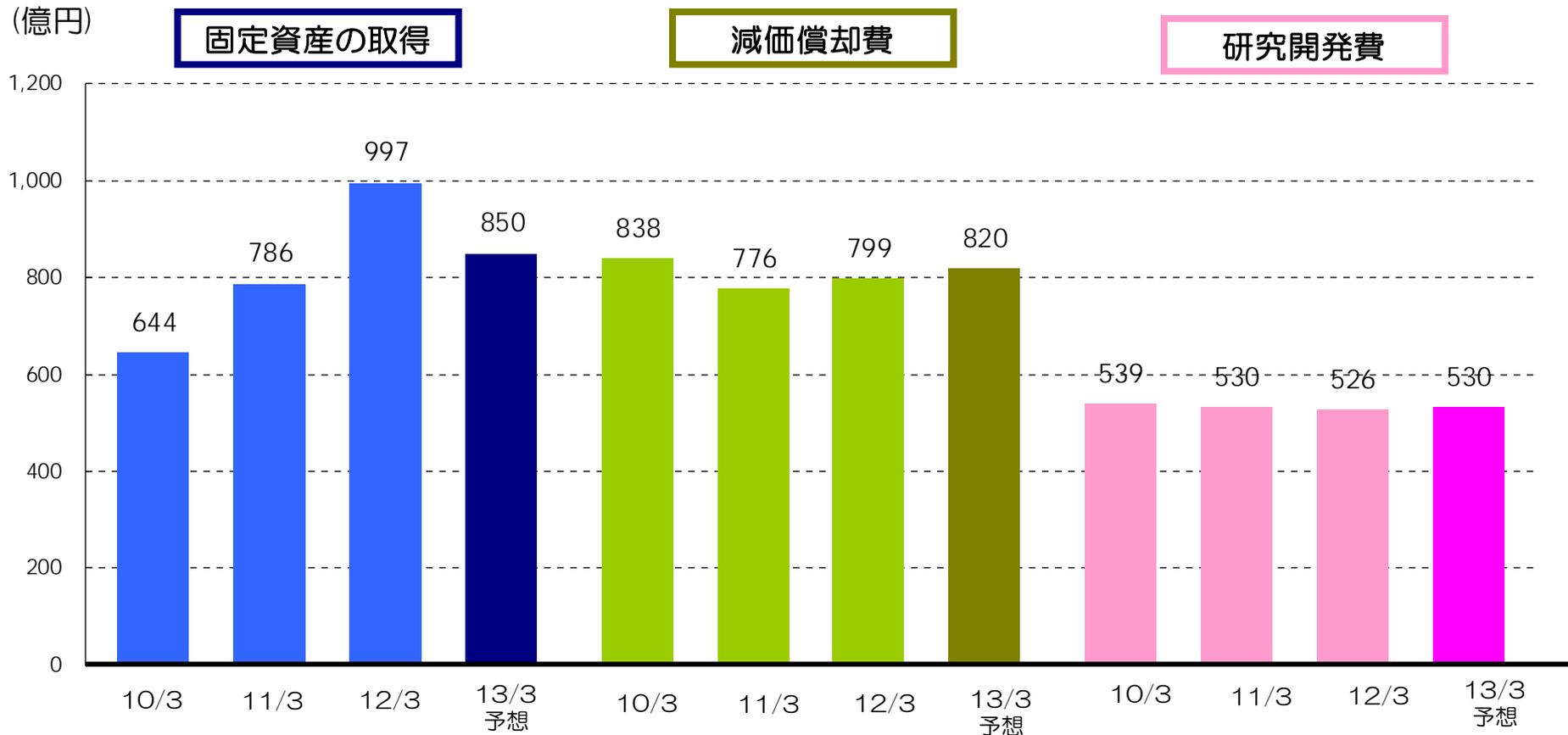
内記録デバイス
売上599億円

- 情報家電
- 通信
- 自動車
- 産業機器及びその他

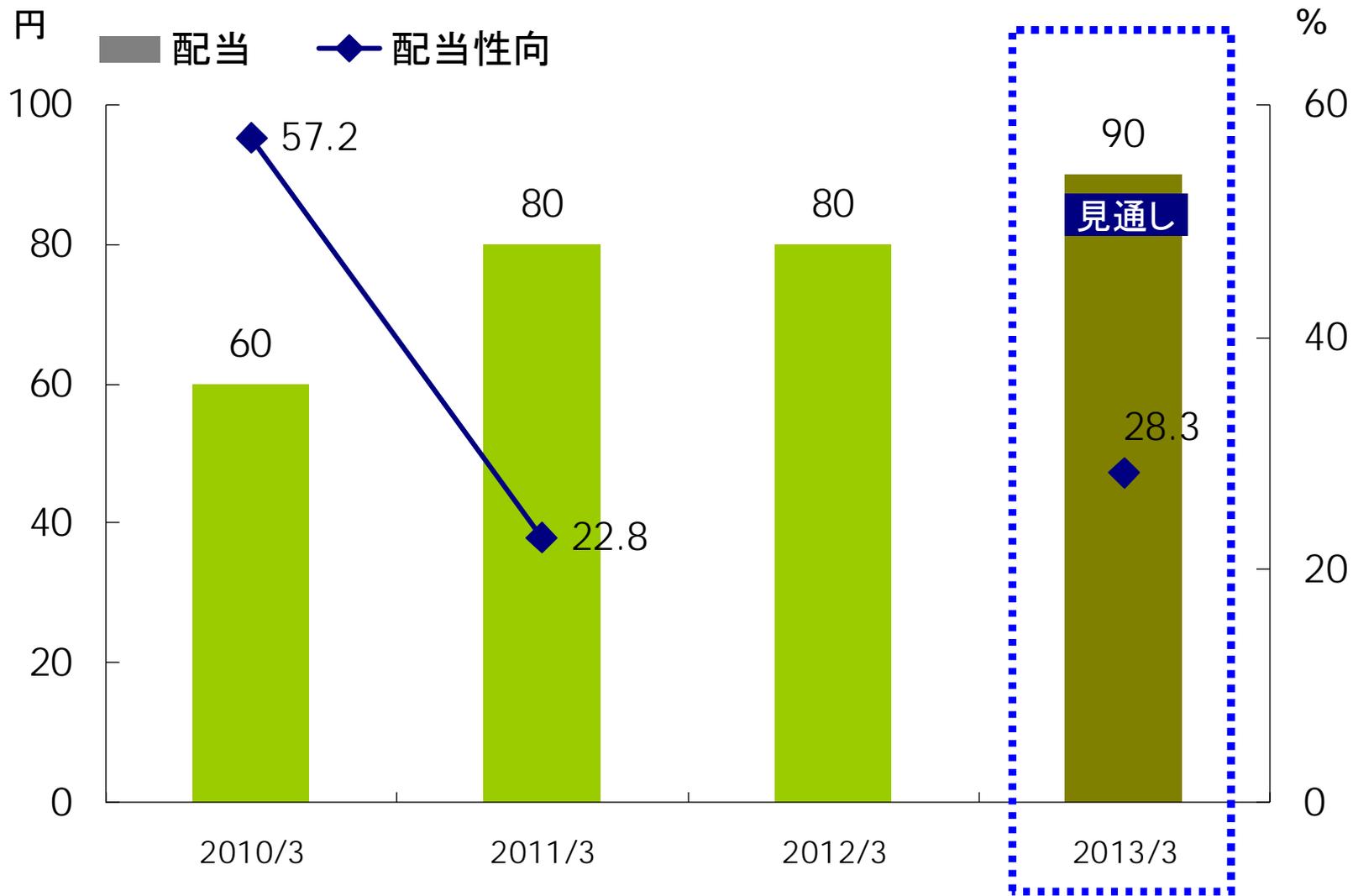


※非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

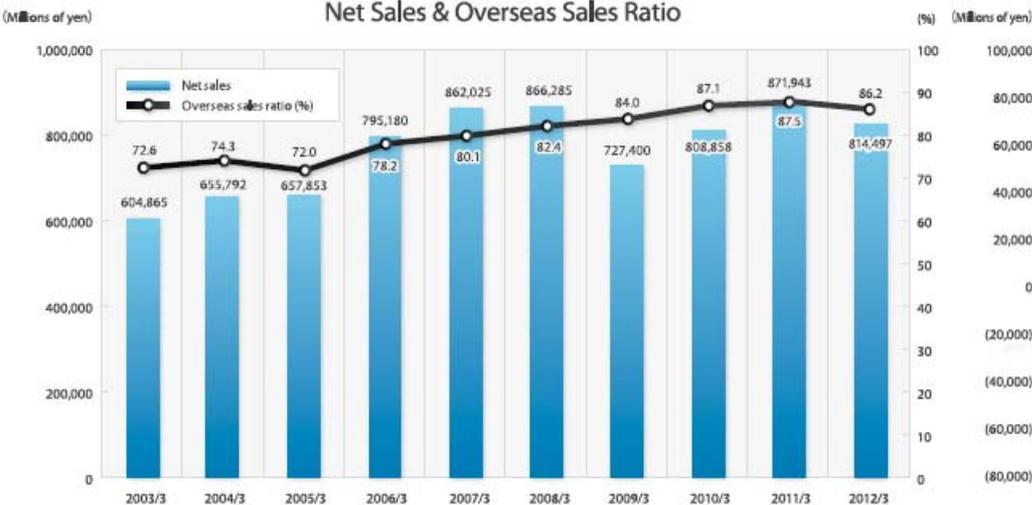
(億円)	2012年3月末	2012年6月末	増減
総資産	10,728	10,465	△ 263
負債合計	5,608	5,618	10
うち有利子負債	2,728	2,807	79
株主資本	4,982	4,707	△ 275
(うち包括利益)	△ 2,308	△ 2,578	△ 270
株主資本比率	46.4%	45.0%	△ 1.4pt



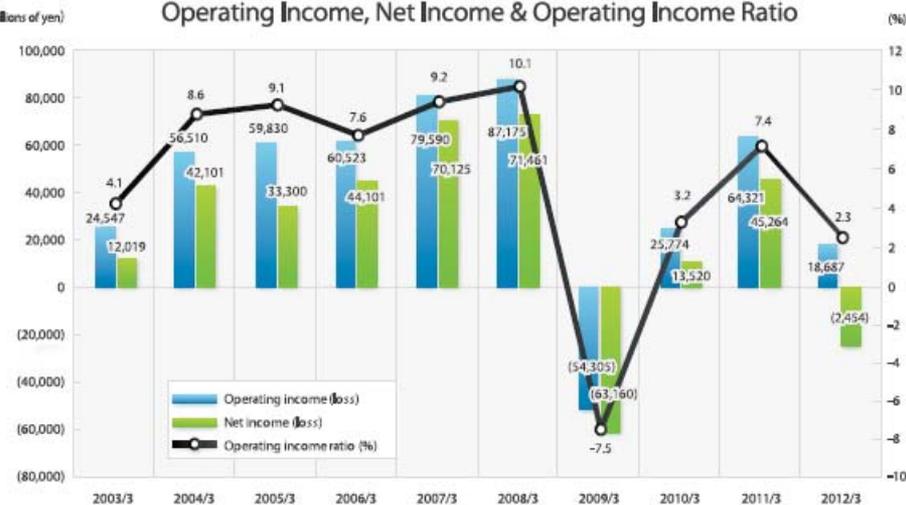
2013年3月期連結業績予想 - 配当金 -



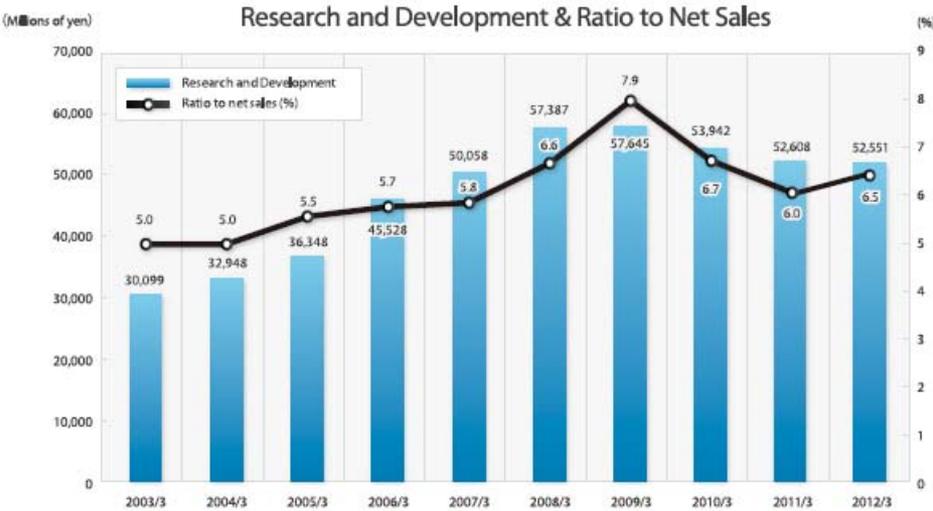
Net Sales & Overseas Sales Ratio



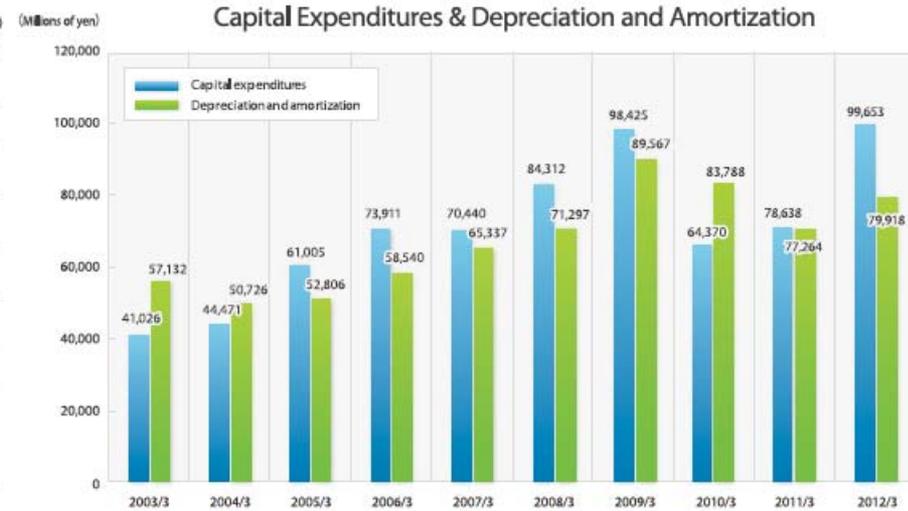
Operating Income, Net Income & Operating Income Ratio

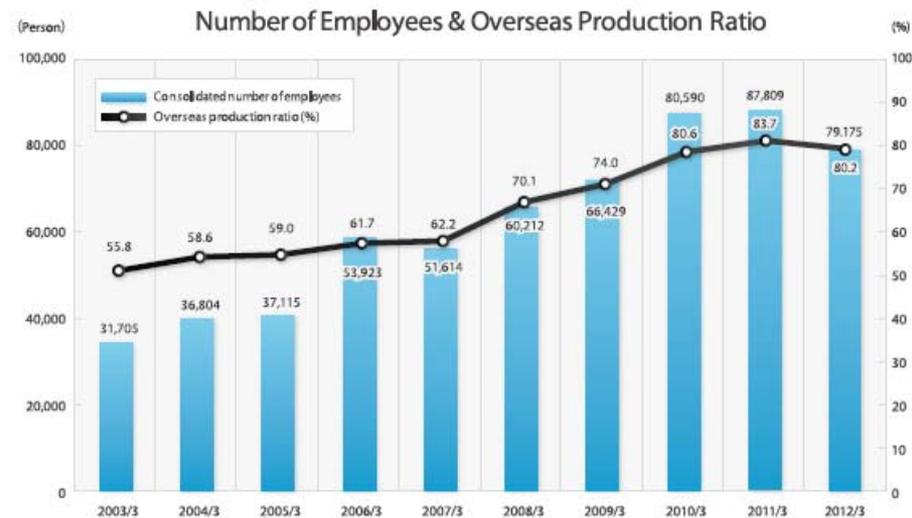
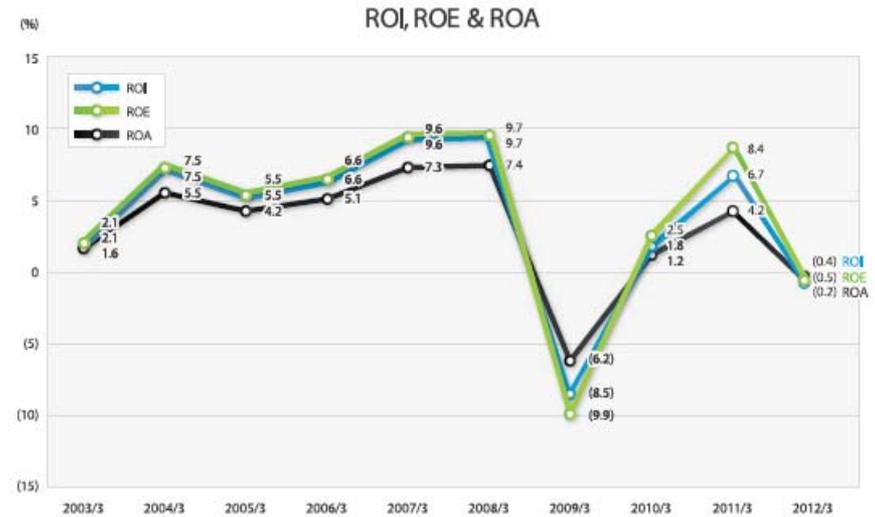
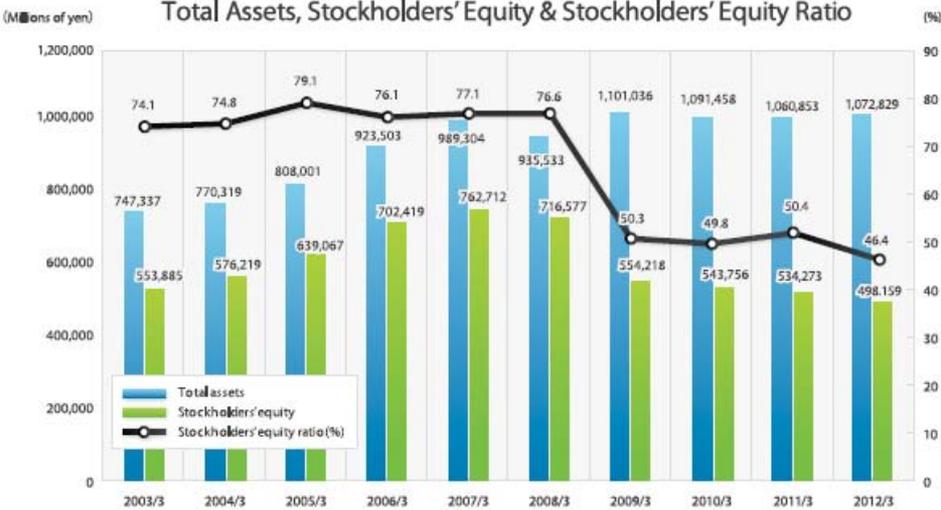


Research and Development & Ratio to Net Sales



Capital Expenditures & Depreciation and Amortization





説明会資料に関してご留意頂きたい点

当社の事業のセグメントは、**前期より**「受動部品」、「磁気応用製品」及び「フィルム応用製品」の3つの報告セグメントとそれらに属さない「その他」に分類しております。

従前セグメント

セグメント	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット、 記録メディア
その他	エネルギーデバイス(二次電池) 、メカトロニクス(製造設備)等

報告セグメント

+

その他

現行セグメント

セグメント	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット
フィルム応用製品	エネルギーデバイス(二次電池) アプライドフィルム(旧記録メディア)
その他	メカトロニクス(製造設備)等

報告セグメント

+

その他

「磁気応用製品」に属していた「記録メディア」は、一部製品の終息及びセパレータ事業の買収により主要製品が機能性フィルム製品へとシフトしていることから、「アプライドフィルム」と名称を変更し、コア技術や市場等において類似性があるエネルギーデバイスとともに、前期より新たな報告セグメント「フィルム応用製品」として分類しております。

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/1q_1.htm